

# 特定非営利活動法人 石見銀山資料館



世界遺産の学びをとおして  
共生社会の実現を  
めざしています



## 団体の活動、セールスポイント

### ●世界遺産の中にある小さな博物館 ～住民のトラスト運動が出発点～

1976年に民間の博物館として開館して以来、半世紀にわたり石見銀山に関する調査研究や資料の保存・展示、教育普及活動をおこなってきました。私たちは、「学び」が未来を創り出す原動力だと考えています。何を学ぶかが大切であり、その教材として石見銀山があります。その機会を提供する役割が当館にあるという信念のもと日々活動をおこなっています。



## 寄附を受けて取り組みたい事業 これまでに寄附を活用して実施した 事業

### ●世界遺産の学びのバリアフリー化に 向けたICT教材の制作プロジェクト

誰もが世界遺産の学びを享受できる環境を電子書籍やオーディオブックなどのICT教材を整備することで実現するものです。

その目的は、「世界遺産の学び」とおして「障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み」を作ること。これによって共生社会の実現に寄与したいと考えます。

※このプロジェクトは、令和2年度しまね社会貢献基金事業の採択を受け、現在進行中です。



## 団体の目標

### ●「学びのバリアフリー」の実現 誰もが学べる環境づくり

### ●「活用のバリアフリー」への取り組み

歴史資源の活用は、専門的な知識やスキルが必要なため誰もが簡単に利用する環境にはありません。こうした障害となっている課題にも積極的に取り組んでいます。

写真：江戸時代に編纂された『甘藷百珍』の現代語訳本を刊行。市内の学校や公立図書館、団体などに配本。



## 団体から寄附者へのPR

世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、平和や人権、自然環境、生物多様性などを考えるための優れた教科書であると考えています。

当法人では博物館の社会的使命として「教育の機会均等」の実現に向け「学びのバリアフリー」を提唱しています。国・地域・人種・民族・国籍・性別や障がいの有無に関係なく誰もが学びを受け取ることができて、味わい楽しむことができる環境づくりに取り組んでいます。

特定非営利活動法人 石見銀山資料館  
理事長 仲野義文

〒690-8501 島根県大田市大森町ハ51番地1

tel 0854-89-0846 fax 0854-89-0159

Mail info@igmuseum.jp

hp <https://igmuseum.jp/>

<http://www.facebook.com/iwamiginzanshiryoukan/>